

広報れいほく

REIHOKU

人が輝き 地域が輝く まちづくり

はまゆう ひだまり公園！

待ちに待った

防災・行政情報配信システム　れいほく　よかナビ

App Store からダウンロード

Google Play で手に入れよう

アプリの設定はお済みですか？

2026 November

11

vol.755

令和8（2026）年11月20日発行［毎月21日発行］

特集

地域の「つながり」が支えるもの

～地域コミュニティの衰退に、私たちはどう向き合うか～

地域の行事に参加する人が少なくなった、担い手（後継者）が集まりにくくなった、近所で顔を合わせる機会が減った――。こうした地域コミュニティの変化を、町民の皆さんはどのように感じていますか。

人口構成や暮らし方の変化、仕事や子育て、介護などによる生活時間の多様化により、地域の人が集まり、活動する形は変わりつつあります。以前と同じように続けることが難しくなっている地域や行事などもあるのも事実です。しかし、そのような中でも、少しでも地域とのつながりの強さを原動力に、地域に元気を届けよう、地域を盛り上げようと奮闘する人達がいます。

地域で顔を合わせる機会が減ると、困ったときに相談できる関係や、子どもや高齢者を見守る地域のつながりも弱くなるおそれがあります。少子高齢化が顕著に進むこの苓北町で、都市部以上に、なぜ、地域とのつながりを大切にすることが大事なのか。今回は、それを考えてみます。



地域コミュニティが支えるもの

近年、全国的な人口減少や少子高齢化、若年層の都市部への流出、ライフスタイルの多様化などを背景に、地域コミュニティの機能低下が問題視されています。特に、地方では、人口減少と少子高齢化が同時に進行することで、これまで地域住民によって維持されてきた祭りや地域行事、防災活動、環境美化活動などの継続が難しくなっている地域もあり、苓北町においても、決して例外ではありません。

地域コミュニティとは、「地域のつながり」のことです。例えば、地震や自然災害など、いざというときに頼りになるのは、普段から顔を合わせている人の存在です。普段から近所の人や地域の人との関わりがあれば、避難や安否確認が必要なときにも、声をかけ合うことができます。

また、地域の活動は、世代や業種を超えた交流の場にもなります。子どもたちにとっては地域の大人と関わる機会となり、高齢者の皆さんにとっては人と話し、外に出るきっかけになり、安心して暮らせる環境をつくることにもつながります。

地域コミュニティの役割は、ただ、地域行事などを続けていくことだけに留まらず、一人一人が互いの存在を知り、困ったときに支え合える関係をつくることにあります。

今回は、富岡地区で約20年ぶりに復活した「どんどや」や町内の伝統的なお祭りが、地域とのつながりを育むうえでどのような存在なのか、それに関わり奮闘する人たちに迫りました。

地域コミュニティの衰退の現状と課題

現状　人口減少・少子高齢化などを背景に、地域コミュニティの機能低下が進んでいる。

- 自治会などへの加入率の低下
- 役員の担い手不足
- 地域行事への参加者の減少
- 住民同士のつながりの希薄化
- 地方では、祭りや伝統行事、防災活動、環境美化活動などの継続が困難に。
- 一部の住民や役員に負担が集中。
- 共働き世帯の増加や価値観の多様化で、従来の地域活動への参加が困難となる住民も増加。



主な課題　地域コミュニティの機能低下により、さまざまな課題が生じている。

1 担い手不足と役員の負担増加



人口減少や高齢化で、役員や活動の担い手が不足することで、特定の住民に業務や責任が集中し、負担が増大。

2 住民同士のつながりの希薄化



転入者や若年層、単身世帯などが地域と接点を持ちにくく、孤立の防止や見守りにも影響が出る。

3 地域活動への参加者の減少



地域行事などの活動の継続が困難になり、従来の慣習や運営方法が参加のハードルになる場合も。

4 地域課題への対応力の低下



防災・防犯、子育て支援、高齢者の見守り、環境保全などへの対応力が低下し、災害時や日常の支え合いの維持が困難に。

5 地域活動の持続可能性の確保



地域活動の維持が困難になることで、行政、自治会、団体、学校などとの連携がより一層必要に。

今後地域コミュニティが果たすべき役割　一人一人が関わり合い、誰もが参加しやすく、持続可能な地域づくりを進めることが求められる。

1 つながりと支え合いの場をつくる



世代や立場を超えた交流を生み出し、助け合い・見守りの関係を育む。

2 多様な人が参加できる仕組みをつくる



若年層・子育て世帯・転入者などが参加しやすい活動やルールづくりを進める。

3 地域の課題を自ら解決する力を高める



防災・防犯、福祉、環境など地域の課題に、町民同士で取り組む力を強化する。

4 さまざまな団体と連携する



行政・地域団体・学校などと連携し、資源や人材を活用する。

5 持続可能な地域運営を実現する



地域の実情に応じて、組織や活動の見直しを行い、将来にわたって続く仕組みをつくる。

地域コミュニティは、住民一人一人の暮らしを支える「地域のつながり」。
それぞれが関わり合い、支え合うことで「持続可能で、誰もが安心して暮らせる地域」をつくっていきます！







復活した「どんどや」による地域の交流

本年１月、富岡小学校で「どんどや」が約 20 年ぶりに開催され、地元住民ら約 200 人が参加しました。このどんどやでは、しめ縄や破魔矢、お札などが持ち寄られ、燃え盛る炎に１年の無病息災や五穀豊穣を願いました。また、会場内では、餅焼きや富岡地区女性の会による豚汁の振る舞いも行われました。このどんどやがなぜ復活したのか。このどんどやに込められた思いとは―。











日頃から顔を合わせて助け合える関係づくりを

富岡どんどや実行委員長
野田 勝広さん（二丁目区長）

人口減少と少子高齢化に加え、義務教育学校の開校に伴う富岡小学校の閉校を背景に、私は元々、富岡地区における地域コミュニティの維持が難しくなるのではないかという危機感を抱いていました。また、これまで各地区で担ってきた行事についても、従来どおり維持することが難しくなっている状況があります。特に、祭りなどの行事を支える後継者が不足し、担い手の確保が難しくなっているのが現状です。しかし、ひとたび「令和８年熊本地震」のような災害などが発生した場合には、「地域での支え合い」が非常に大切になります。特に、地域での見守り機能がなければ、子どもたちの成長や、単身世帯の高齢者の安全を守ることは困難です。日頃から地域全体で支え合うことが、今後ますます重要になると思います。

本年１月に復活した「どんどや」では、日頃顔を合わせる機会の少ない皆さんとの交流を図り、少しでも地域とのつながりを維持すると共に、富岡地区を一つにしたいとの思いから、開催を計画しました。今回、久しぶりに開催したところ、子どもから大人まで幅広い世代の住民の皆さんに参加していただき、多くの方に喜んでいただくことができました。

これも、地域の皆さんや関係者の皆さんのおかげです。このような地域行事を通じて、地域が一つになることは、とても大切だと改めて感じました。



富岡地区女性の会
会長　髙村 政子さん

子どもたちとの交流を深めたどんどや

私達女性の会では、豚汁の材料を、どんどや前日に富岡小学校の児童や保護者の皆さんと一緒に調理しました。私たちにとっても、子どもたちと交流できる数少ない機会ですので、このような交流の場があることを大変うれしく思います。

また、当日のどんどやでは、多くの皆さんから「豚汁、おいしかったです」「おかわりください」などのうれしい言葉をいただき、開催してよかったと思いました。このように、富岡地区の皆さんが一つになって取り組みを成功させることは、素晴らしいことだと思います。今後も、このような取り組みが続いていくことを強く願っています。



富岡地区シニアクラブ連合会事務局
鮫島 祐一さん（五丁目区長）

世代をつなぐ、富岡のどんどや

老人会では、毎年、富岡小学校の皆さんとの交流行事を通じて、お手玉や竹とんぼ、あやとりなどを体験してもらい、文化の継承に取り組んでいます。また、富岡の昔話や戦争に関する講話を行うこともあり、子どもたちに少しでも地元への愛着を持ってもらえるよう努めています。

今回、復活したどんどやでも、子どもたちと協働して作業を行ったことで、素晴らしい行事となりました。このようなどんどやをはじめとする地域行事を、子どもたちや地域の皆さんと共に行うことで、幅広い世代が互いに助け合い、支え合える地域づくりにつながればうれしく思います。

大人の方と交流できる貴重な機会になりました



黒瀬 大晴さん

地域の皆さんが集まって、どんどやを行い、お餅の焼き方などを大人の方に教わりながら、一緒にお餅を焼いて食べたり、お話をしたりと普段接することがない地域の皆さんとも交流ができました。

自分が住む地域の方がいらっしゃったので、優しく声をかけていただいたのがとてもうれしかったです。

子ども時代の思い出がよみがえります！



後藤 幸成さん

どんどやが復活すると聞いて、とても楽しみにしていました。私が子どもの頃は、当たり前のように参加していましたので、今回改めていいものだなとしみじみ感じました。子どもたちにとっても貴重な経験になったようです。火を囲んで世代を超えて触れ合える、地域とのつながりの大切さを改めて実感した一日となりました。

富岡を愛する心が子どもたちに育まれるように！



富岡小学校 校長
木場 正敏さん

今回、学校として携わらせていただき、地域の皆さんと子どもたちが接する姿を見て、子どもたちを慈（いつく）しみ、地域の皆さんで子どもたちを大切に育てていただいていることを強く感じました。富岡地区が持つ「子どもを温かく育む地域性」や「人と人との強い結びつき」を体感する場として、今後も続いていってほしいと思います。





地域の祭りがつなぐもの

地域の祭りは、地域の人が集まり、世代を超えて交流する大切な機会であり、普段は話す機会が少ない人同士が顔を合わせます。子どもにとっては、地域の大人と出会い、地域の文化や思いに触れる場になります。大人にとっても、子どもの成長を見守り、地域の仲間と交流する機会となります。

地域の祭りは、単なる祭事ではなく、「この地域で一緒に暮らしている」という実感を生む役割を果たしてきました。あなたにとって、地域の祭りとは―。








祭りを通じて育む伝統文化の継承と地域のつながり

城下区長　小野 勉さん

志岐のお祭りは、２００年以上の歴史を持つ伝統的な祭りです。その長い歴史が受け継がれてきたのも、これまでの諸先輩方のご尽力のたまものだと思います。だからこそ、これまでつないできた伝統や文化を、これからも次世代へつないでいくことが私たちの役割だと思っています。そのためには、地域の結束力がとても重要です。

地域の祭りなどの行事や町民体育祭などでは、地域の皆さんの協力が欠かせません。今回の祭りも、地域の皆さんや関係者の皆さんのおかげで、素晴らしい祭りとなりました。地域の皆さんから温かい言葉を掛けていただき、祭りが地域を元気にしていることを実感しましたし、少子高齢化や人口減少が進む中で、改めて地域のつながりから生まれる「結束力」の重要性を感じています。

城下区では、地元住民の皆さんはもちろん、城下区に住んでいる外国人の方々とも積極的に交流を図りながら、祭りや町民体育祭に参加していただけるよう声掛けを行い、少しでも地域のつながりを築いていただけるよう努めています。

いざ地域で災害などが発生した際には、「地域の力」がとても重要になります。そうした点からも、町内で行われる地域行事などを通じて顔を合わせる機会を持ち、地域の結束力を高めることは、とても大切だと思います。

祭りの仲間は財産です！



林田 悠慎（ゆうしん）さん、友和さん、昊（そら）さん親子（左から）

地域の祭りに出て、地域の皆さんの温かみや、祭りが地域を元気にしているという存在だということを少しでも肌で感じてもらいたいと思い、今回、初めて親子で祭りに参加しました。私たちもこの苓北に少しでも恩返ししたいと思い、祭りに参加しています。祭りを通じて知り合った仲間は「私たちの財産」です。

地域を元気づける踊りを



田﨑 隆盛さん（写真左）
川田 健士郎さん（写真右）

祭りを通じて、私たちが志岐地区を盛り上げるという使命感を持って、獅子舞の舞いに取り組んでいます。踊り手も年々高齢化が進んでいますが、地域の皆さんからの「楽しみにしていたよ」などの温かいお声をいただくと、とても励みになります。今後も地域を元気づける踊りができるよう頑張ります！

地域が一つになる祭り



大仁田 達也さん

祭りは、日頃顔を合わせない方とも交流することができる機会ですよね。お互いに久しぶりに顔を合わせると、うれしい気持ちになりますし、異業種交流という点でも、さまざまな形で交流でき、顔なじみになることで、地域が一つになっていると感じます。こういう機会がとても貴重だと感じますね。

祭りが思い出になっています



吉村 歌音（かのん）さん（写真左）
林田 彩来（さら）さん（写真右）

私たちにとって祭りは、日頃顔を合わすことがない、地域の大人の方や、祭りの関係者の方と交流することができる機会になっています。また、小学生から高校生までいろんな世代のお兄さんやお姉さんも参加されるので、歩くのは大変ですが、たくさん話せたりしてとてもうれしいですし、楽しい思い出になります。

祭りが心の拠り所に！



田尻 悠人（はると）さん

私は現在、関西で仕事をしています。一昨年から祭りの踊り手として参加させていただき、先輩方の「地域を盛り上げたい」という気概に感動を覚えました。私もふるさとのために何か役に立ちたいと思い、祭りの際には苓北に帰郷し、参加しています。町外にいる今では、祭りが私の心の拠り所になっていますね。

私たちが祭りを盛り上げます



植里 卓海（たくみ）さん、
歩矛（あゆむ）さん兄弟

私たちは、高校時代から祭りに参加させていただいています。祖父の代から続いてきた伝統の重みを感じながら、魂を込めて毎回参加しています。祭りを通じて、多くの皆さんに元気を届けられる踊りができるよう、自分たちが祭りを盛り上げるという自覚をもって、これからも兄弟一丸となって頑張ります。

これから、私たちがどう向き合うか。地域のつながりを、次の世代へ！

苓北町の人口は、本年、いよいよ6，000人を下回りました。これからも厳しい状況が続いていくことでしょう。

しかし、その状況をただ見ているだけではいけません。地域が衰退していく中でも、失ってはならないのが「地域のつながり」であり、そこから生まれる結束力ではないでしょうか。

人口減少や少子高齢化が進む中で、地域行事やその他さまざまな活動をなくしていくことは簡単です。今回紹介したように、町民の皆さんが一致団結し、互いを認め合い、地域の結束力を高めていくことが、これまで以上に大切になると思います。

一方で、地域コミュニティの衰退に向き合うためには、昔と同じ形をそのまま守り続けることだけが答えではありません。大切なのは、祭りや地域行事などが果たしてきた役割を見つめ直し、今の暮らしに合った形でつないでいくことです。

回覧板や地域のお知らせに目を通す。地域の行事に一度参加してみる。清掃活動や防災訓練に、できるだけ参加する。地域で困っている人がいないか気にかける。身近なこうした行動も、地域のつながりを育てる大切な一歩です。大切なのは、誰かに任せきりにするのではなく、地域に暮らす私たち自身が課題を自分ごととして捉え、できることを考え、行動につなげていくことです。

これからの苓北町を、どのような場所にしていきたいのか。そして、そのために自分には何ができるのか。地域コミュニティの衰退を、単に失われていくものとして捉えるのではなく、これからの地域のあり方を考えるきっかけにする。一人一人の小さな関わりを積み重ね、互いに支え合いながら、次の世代へつないでいく。そんな未来を、私たち自身の手でつくっていくことが求められています。

祭りの道中で、地域を巡りながら、何度も獅子舞を披露し、迎えた最後の舞。踊り終えた川田さんと田﨑さんは、これまでの苦労を労い合い固く抱き合いました。地域を盛り上げようと3週間にわたる練習を続けてきた二人。喜びと達成感が溢れるその姿は、祭りを支える人々の絆と地域のつながりの尊さを感じさせてくれます。

今回紹介した「どんどや」では、地域の見守りの場として、地域住民が顔を合わせ、地域が一つになろうと願う姿がありました。また、地域のお祭りでは、地域に元気を届け、地域を盛り上げようと奮闘し、地域とのつながりを大切にし、それを心のよりどころとする人たちの姿がありました。

そのほかにも、坂瀬川、都呂々、上津深江などにも、地域のつながりを大切にしようと努力している町民の皆さんが多くいらっしゃいます。これも、皆さんがこの町を愛し、この町での暮らしを誇りに思っているからにほかなりません。

特集 終

雲仙天草国立公園天草地域指定70周年記念

夕陽は、エネルギーに！ 苓北夕やけマラソン2026

スポーツくじ BIG toto MINI WINNER DUNK
スポーツ振興くじ助成事業

大会結果

ハーフ男子		
優勝	浜崎　航太郎	1：12：49
2位	油布　功一	1：13：18
3位	衛藤　剛	1：13：36
ハーフ女子		
優勝	甲田　さくら	1：31：01
2位	池田　香織	1：40：07
3位	川辺　正等美	1：40：11
10km 男子		
優勝	津田　郁将	34：20
2位	赤池　泰誠	34：58
3位	本川　健太	35：34
10km 女子		
優勝	上嶋　知子	40：00
2位	池田　結衣	47：49
3位	村上　実理	48：11
4km 男子		
優勝	松本　遥真	13：43
2位	田上　峻丞	14：16
3位	蓑田　朔良	14：45
4km 女子		
優勝	松下　凛子	15：43
2位	宇都宮花菜子	18：35
3位	澤木　涼羽	19：43

















苓北夕やけマラソン２０２６は11月7日㊏、苓北町町民総合センター前をスタート、苓北町鱗泉運動公園をゴールに開催されました。

大会当日は、ハーフ、10㎞、4㎞の3部門で行われ、町内外から約８００人が参加しました。（最高齢は86歳の吉永繁敏さん［天草市］、最遠来者は北海道から参加の松本裕輔さん）

当日は比較的良好なマラソンコンディションとなり、参加ランナーは、天草西海岸の美しい景色を楽しみながらコースを駆け抜けました。また、沿道からは温かい声援が送られ、ランナーはその声援を力に変えてゴールを目指しました。ゴール後のランナーの表情からは、走り切った達成感と笑顔があふれていました。

なお、本大会はスポーツ振興くじ助成金を受けて開催しました。

Guest Runner



絶好のコンディションの中、苓北が誇るきれいな夕やけを力に走れるのがこの大会のいいところですよね。沿道の皆さんからも温かい応援をいただき、今回も楽しく走ることができました。

年々、参加ランナーも増えてきて、大会が進化していることを実感しています。今後もさらに本大会が盛り上がることを願っています。ありがとうございました。

輝きたる苓北人 ～特別編～

【追悼】永野義孝（しの）さんを偲んで一地域医療・障がい福祉・文化の発展に捧げた生涯

本年５月、社会福祉法人慈永会・社会医療法人稲穂会の創業者である永野義孝さんが89歳で逝去されました。生涯を通じて「弱き者に寄り添い、人を慈しむ」という人間愛を一貫して貫き、地域医療や社会福祉、国際交流、そして地域文化の振興に大きな足跡を残されました。

今回、「輝きたる苓北人・特別編」として、永野さんの歩みをたどります。



▶ **profile**

一貫グループ（社会福祉法人慈永会・社会医療法人稲穂会）
創業者　永野義孝さん

1936年志岐生まれ。1969年に永野医院（現：天草慈恵病院）を開院後、はまゆう療育園をはじめとする医療・福祉施設を数多く運営。天草地域の医療と福祉の充実に尽力されました。

原点となった家族への想い

永野さんは、鹿児島大学医学部を卒業後、医師として歩み始められます。ご長男の誕生を機に障がいと向き合い、故郷へ戻り「永野医院」を開院。障がいの未来を見据え、当時、全国的にも非常に少なかった重症心身障害児施設「はまゆう学園」を設立されました。

全ての人が分け隔てなく暮らせる社会を目指し、利用者やその家族に寄り添い続けるとともに、障がいのある人が教育を受ける機会を確保するため、県や国に根気強く働きかけ、苓北支援学校の開校・併設に尽力されました。後に永野医院を「天草慈恵病院」として移転開院し、医療と福祉を一体的に提供する「一貫グループ」の基盤を一代で築き上げられました。

国境を越えた草の根の交流

永野さんの奉仕の精神は国境を越え、中国との医療・文化交流は40年以上に及びました。桂林市人民医院への頭部ＣＴをはじめとする高額な医療機器の寄贈や検査棟「友誼楼」の設立をはじめ、現地医療従事者の研修受入れ、奨学金設立など幅広い支援を展開。その功績により国際ロータリーから「超我の奉仕賞」を受賞されました。また、中国政府から「人民友誼貢献奨」が贈られ、「桂林市名誉市民」の称号を受領されるなど、民間外交の模範として歴史に深く刻まれています。

地域文化を育み、暮らしに豊かな温もりを

地域の暮らしを豊かにすることにも情熱を注がれました。当時は珍しかった「花火大会」には町内外からたくさんの観客が詰めかけ、「はまゆう子供公園」（児童公園）の風景と合わせて、多くの人の思い出に刻まれていることでしょう。

また、当時本渡市以外に図書館がなかったことから、民間施設ながら展示室を備えた図書館「ふれあいスペース如水館」を開館し、無料で開放されました。開館当初から全てバリアフリー対応にし、地域や年齢、障がいの有無に限らず、全ての人が利用できるようにされました。これには「皆さんに自然なかたちで障がいというものを理解していただきたい」という永野さんの思いが込められているのです。天草文化協会は、これらの功績をたたえ「天草文化賞」を贈り、自身も第五代天草文化協会会長として天草の文化振興にも尽くされました。

温かな遺志を受け継いで

「自分のために何をして貰いたいかではなく、自分は人の為に何ができるか」を考える人になってほしい―。その慈愛の精神は、グループの理念としてこれからも脈々と受け継がれます。地域のために尽力された生前のご功績に心より感謝申し上げるとともに、ご冥福をお祈りいたします。



はまゆう子供公園
（現如水館～天草慈恵病院一帯）

写真・資料提供：社会福祉法人慈永会

後輩たちが使う食器に思いを込めて

来春卒業の中学３年生が絵付け体験

苓北中学校の３年生を対象に10月29日㈬、天草陶石で作られたお皿の絵付け体験が行われました。これは、食育推進の一環として、給食用の食器に生徒がオリジナルの絵付けを行うことで、食器に愛着を持たせ、大切に扱う気持ちを育むことを目的に毎年実施されています。

絵付けを体験した林田尭人（たかと）さんは、「給食で使用してきたお皿が先輩たちによって作られたものだと初めて知りました。後輩たちにも僕たちの思いが通じればうれしいです」と笑顔で話しました。



慎重にお皿へ絵付けを行う生徒

町内小中学校で招待給食！

学校給食用米を作った農家さんをご招待

町では、新鮮で安全な「食」を通じて、児童生徒の心豊かで健康な生活の基礎を培うことを目的に、町内で取れたお米を学校給食用として提供する地産地消の取り組みを進めています。その取り組みの一環として、10月５日㈪、苓北町水稲地産地消推進協議会（倉田明会長）の地元農家ら関係者を招いた「招待給食」が町内小中学校で行われました。当日は、児童生徒は米作りで大切なことや大変なことなどを農家の皆さんに質問しながら、給食を楽しんでいました。



生徒へ米作りで大切なことなどを語る倉田会長

国立公園天草地域指定70周年！

苓北町歴史資料館で企画パネル展を開催しています

国立公園天草地域指定70周年を記念した企画展が天草市・上天草市・苓北町でそれぞれ行われました。苓北町では、ふれあいスペース如水館で11月15日㊏まで開催され、国立公園の天草地域指定に至るまでの道のりを語る貴重な資料が多く展示されました。

また、富岡城内の苓北町歴史資料館では、国立公園天草地域指定70周年を記念した企画パネル展「島原・天草一揆 富岡城の戦い」が現在も開催されています。ぜひご来場ください。



島原・天草一揆に関する
パネル資料が展示されています！

「私の地元応援募金」などでまちを応援

明治安田生命保険相互会社が町へ寄付

明治安田生命保険相互会社（本社：東京都）から「私の地元応援募金」として512,898円を、今後の災害などへの備えとして1,000,000円をそれぞれご寄付いただきました。

10月20日㈫には、役場庁議室にて感謝状贈呈式を開催。同社の梅野勝義熊本支社長から目録が贈呈されたほか、山﨑町長から同社へ感謝状が贈られました。なお、今回の寄付金は、健康増進および防災関連の事業へそれぞれ活用することとしています。



貴重なご寄付をありがとうございました

町内の77歳以上は1,437人に！

～ 町内４地区で敬老会が開催 ～

77歳以上（昭和25年４月１日までに生まれた人）を招待しお祝いする苓北町敬老会が、10月14日㈫に志岐・富岡地区で15日㈬に坂瀬川・都呂々地区でそれぞれ開催されました。

本年は町全体で、米寿（88歳）が74人、喜寿（77歳）が147人で、それぞれの表彰などが執り行われた後、各会場では、小中学生による敬老作文の朗読や、各種団体によるお祝いの演芸が行われ、会場に訪れた出席者の長寿を祝いました。



お祝いの記念品を受け取る出席者

祝 満100歳

苓北町では本年度、７人が100歳を迎えられます。
誠におめでとうございます。いつまでもお元気で。



森　恵美子さん（志岐）



田﨑　ユキさん（志岐）



松野　恒子さん（富岡）



黒瀬　タマエさん（富岡）



濵﨑　ミネ子さん（富岡）



林田　かをるさん（都呂々）

戸次　マサ子さん（上津深江）※お名前のみ

祝 金婚夫婦

本年度、金婚式（結婚50周年）を迎えられる町内の18組のご夫婦を紹介します。誠におめでとうございます。末永くお幸せに。

坂瀬川地区
田尻　哲史さん・孝子さん
宮下　義男さん・照代さん
錦戸　雄三さん・けいかさん
錦戸　久壽さん・ハツエさん

志岐地区
荒木　忠重さん・ちづるさん
谷川　初雄さん・信子さん
林田　道久さん・惠美子さん
村松　俊郎さん・由紀子さん
小野　正利さん・やす子さん
武林　公久さん・敏江さん
田中　直行さん・とみえさん
大仁田　陽一さん・さえ子さん

富岡地区
浅井　克則さん・美和子さん
松野　茂さん・すみ子さん

都呂々地区
松原　綱一さん・つね子さん
作田　和夫さん・アツミさん
中山　博良さん・京子さん
善徳　誠さん・照代さん





町職員の給与などをお知らせします

問　総務課　☎35-1111

❶職員の任免および職員数の状況

○職員の任免および職員数の状況

令和5年4月1日現在職員数	令和5年度		令和6年4月1日現在職員数	令和6年度		令和7年4月1日現在職員数	令和7年度		令和8年4月1日現在職員数
	年度末までの退職者	次年度採用		年度末までの退職者	次年度採用		年度末までの退職者	次年度採用	
94人	11人	2人	85人	8人	2人	79人	3人	9人	85人

○部門別職員数の状況

区分／部門		職員数 令和８年度
一般行政職部門	議会事務局	2人
	総務課（広域連合派遣職員含む）	13人
	企画政策課	5人
	会計課	3人
	税務住民課	9人
	福祉保健課	13人
	水道環境課	4人
	農林水産課	9人
	商工観光課	5人
	土木管理課	7人
	小計	70人
特別行政部門	教育委員会（給食調理場職員含む）	10人
公営企業部門	水道（水道環境課）	4人
	下水（水道環境課）	1人
	小計	5人
合計		85人

❷職員の給与に関する状況

○人件費の状況（令和７年度一般会計決算）

住民基本台帳人口	歳出額A	実質収支	人件費B	人件費率（B/A）	（参考）6年度人件費率
5,972人	5,766,523千円	216,338千円	835,482千円	14.5%	15.7%

※人口は令和８年３月31日現在。

○職員給与費の状況（令和８年度一般会計予算）

職員数A	給与費				一人当たり給与費
	給料	職員手当	期末･勤勉手当	計B	（B/A）
82人	341,780千円	46,487千円	143,705千円	531,972千円	6,487千円

※職員数は公営企業会計を除く。

○職員の平均給料月額および平均年齢の状況（令和８年４月１日現在）

一般行政職		
平均給料月額	平均給与月額	平均年齢
336,784円	370,834円	42.2歳

※一般行政職のみ。技能労務職は該当者なし。

○特別職の報酬などの状況（令和８年４月１日現在）

区分		月額	期末手当など（支給割合）		
			6月期	12月期	計
給料	町長	758,000円	1.2625月分	1.2625月分	2.525月分
	副町長	569,000円			
	教育長	531,000円			
報酬	議長	303,000円			
	副議長	250,000円			
	議員	228,000円			

❸職員の勤務時間その他勤務条件の状況

○勤務時間、休憩・休息時間、週休日の状況

勤務時間	休憩時間	休息時間	週休日
8:30~17:15	12:00~13:00	ー	日曜日および土曜日

※一部の施設は、１週間あたり38時間45分の勤務時間を別に指定しています。

○休暇制度の概要

休暇の種類	要件、日数など	
年次有給休暇	最大で年に20日付与	
病気休暇	必要と認められる期間	
特別休暇（主なもの）	結婚休暇	5日以内
	産前休暇	8週間以内
	産後休暇	8週間以内
	妻の出産休暇	2日以内
	育児時間休暇	1日を通じて90分を超えない範囲内
	子の看護休暇	子1人につき5日の範囲内
	親族の死亡休暇	7日（親族等級により異なる）
	夏季休暇	3日以内
介護休暇	最大6ヵ月（無給）	
組合休暇	年に30日以内（無給）	

❹職員の分限および懲戒処分の状況

令和７年度中　・分限処分　０人　・懲戒処分１人

❺職員の服務の状況

地方公務員には、全体の奉仕者として守らなければならない義務が定められています。

①法令等および上司の業務上の命令に従う義務
②信用および名誉を守る義務
③秘密を守る義務
④職務に専念する義務
⑤一定の政治的行為を行わない義務
⑥争議行為などを行わない義務
⑦営利企業などの従事制限

❻職員研修の状況

○研修の実施状況（令和７年度）

研修内容	
◎町独自研修	
●採用後３年以内職員研修	5人
●メンタルヘルス対策研修	25人
●法務スキルアップ研修 ほか	35人
◎階層別研修	
●新規採用職員研修	2人
●新規採用職員フォローアップ研修	2人
●採用後 10 年職員研修	5人
●新任課長研修	1人
◎専門研修	
●固定資産税（初級）研修	1人
●固定資産税（家屋評価）研修	1人
●税徴収事務研修	1人
●市町村民税研修	2人
●契約事務研修	2人
●法制執務研修	5人
●タイムマネジメント研修	2人
●リスクマネジメント研修	11人
●安全運転実技研修 ほか	6人
●説明力向上プレゼンテーション研修	5人
●ハラスメント未然防止力向上研修	1人
●タイムマネジメント研修	2人
◎ IT 研修	1人

❼職員の福祉および利益の保護状況

○健康診断の実施状況（令和７年度）

実施事業	対象職員
定期健康診断	人間ドック受診者以外の全職員
人間ドック受診者	職員のうち希望者（60人）

○職員互助会が実施した福利厚生事業の状況（公費支出なし）（令和７年度）

事業費総額　0円



○公務災害の発生状況

令和７年度･･･３人

○育児休業の取得状況

令和７年度･･･１人

○利益の保護状況

令和７年度

・職員の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する措置の請求…なし
・職員に対する不利益な処分についての不服申し立て…なし



▶**募集職種**　一般事務（社会人経験者）
▶**申込資格**　昭和61年４月２日以降に生まれた人で、民間企業などでの職務経験が通算３年以上ある人
▶**受付期間**　11月27日㈮まで（土日祝日を除く。）
▶**受付時間**　平日の８時30分～ 17時まで
▶**試験の日程など**
▷１次試験期日：12月３日㈭～ 10日㈭まで
▷１次試験内容：ＳＰＩ３－Ｇ（性格検査・基礎能力検査）
※上記の都合が良い時間、場所でインターネットに接続できる環境から受験してください。

▶**採用予定者数**　若干名
▶**その他**
試験実施要領、申込用紙は役場総務課に備え付けのものをご利用ください。なお、町ホームページからもダウンロードできます。詳細は実施要領をご確認ください。
▶**問い合わせ・送付先**
苓北町役場総務課
〒863-2503
熊本県天草郡苓北町志岐660番地
電話　35-1111

会計年度任用職員を募集します

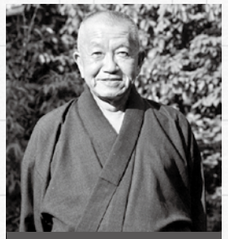
▶**申込期限**　12月11日㈮まで
▶**申し込み方法**　申込書に必要事項を記入し、３カ月以内に撮影した写真を貼付のうえ、担当課へお申し込みください。
▶**その他**　詳細は、下記担当課へお問い合わせいただくか、町ホームページをご確認ください。

番号	職種	職務内容	募集人員	勤務日 勤務時間	報酬額	試験	応募資格	採用時期	担当課
1	事務補助員 （障がい者採用枠）	役場各課での一般事務補助	1人	月16～18日程度 8:30～17:00	日額　9,474円	事務適性および面接	地方公務員として関係法令などを遵守し、職務遂行ができ、パソコン操作ができる人 ※障害者の雇用の促進等に関する法律第２条に規定する障がいのある人は、障がいの種類により提出する書類が異なりますので、あらかじめご確認ください。	令和９年４月	総務課
2	集落支援員	天草れいほく観光協会での一般事務補助	1人	月12日程度 8:30～17:00	日額12,982円	面接	地方公務員として関係法令などを遵守し、以下の要件を満たす人 ①地域住民や関係機関と協力しながら意欲的かつ誠実に活動できる人 ②パソコン操作ができる人 ③普通自動車運転免許を持っている人	令和９年１月	商工観光課

number 24

発掘 文学の宝

ことしも残すところ、あとわずかとなりました。今月は、天草各地に数多くの記念碑が残されている「五足の靴」の旅人達の中から、天草とのゆかりが最も深く、本年で生誕140年を迎えた歌人・吉井勇をご紹介します。　企画　ドットワークス／下川嘉奈


生誕１４０周年
出典：香美市立吉井勇記念館

吉井（よしい）　勇（いさむ）

1886年10月8日
-1960年11月19日

明治末期から昭和中期の日本の歌人、劇作家、小説家。伯爵（華族）。五足の靴メンバーの一人。

歌謡曲「ゴンドラの唄」を作詞した歌人・吉井勇

平井　建治

「白秋とともに泊りし天草の大江の宿は伴天連の宿」―。天草市天草町の大江天主堂のほとりに吉井勇の歌碑がある。昭和27年５月28日除幕式が行われ、林田天草地方事務所長・武藤熊大助教授・郷土史家や歌人など村民多数が参列した。歌人・黒木伝松さんの碑文の説明や、富沢前青年団長の経過報告、来賓祝辞などがあった。なお、吉井勇夫妻は長崎市における「ジャガタラお春」記念碑除幕式に参列した後天草来島の予定だったが、茂木からの海路が時化のため29日に大江を訪れている。歌碑の総工費11万円は半分が県内有志による寄付、残り半分は大江村と村内有志が負担した。建設作業は、向辺田からの石の運搬を含め、全て青年団の勤労奉仕により同年３月に竣工した。

さらに、その歌碑の傍らに、平成13年６月17日「五足の靴」愛好家・塩谷勝さんが建立した第二の「吉井勇」歌碑がある。碑文は吉井が昭和27年天草を再訪した時に詠んだ「ともにゆきし友は皆あらず吾ひとり老いてまた踏む天草の土」。今でもこの歌碑二つが十字架きらめく白亜の天主堂をバックに多くの観光客を迎えている。ちなみに吉井の色紙と書簡が、浜名志松五足の靴文学資料館に、吉井の写真が大江の松浦四郎さん宅に所蔵されている。

ところで、この記念碑の建立は吉井が明治40年夏に新詩社の与謝野鉄幹・北原白秋・木下杢太郎・平野万里らと天草を訪れた「五足の靴」の旅に始まる。白秋の思い付きから始まったこの旅は、当初から目的が漠然としていた。ところが出発１カ月前から杢太郎がやたらと上野の図書館に通い、キリシタンの文献を読みあさり、南蛮文学の資料を集めていたので、いざ旅行が始まると、杢太郎がリードするキリシタン遺跡探訪になってしまった。結局彼らがその後に文壇で発表した多くの詩集や戯曲は、近代文学において南蛮文学を開拓する画期的な足跡を残すことになった。

さらに、その「五足の靴」を天草に定着させたのが次の３人である。一人目は「五足の靴」を最初に発掘した福岡県出身の詩人・野田宇太郎さん。二人目は「五足の靴」を初め天草の文学を集大成した八代市出身で熊大助教授の武藤光麿さん。三人目は天草へ「五足の靴」を根付かせ記念碑を建立した教育者・浜名志松さん。特に浜名さんは、昭和14年暮に中国の武昌にあった陸軍の野戦病院で、従軍看護婦からもらった白秋の「明治大正詩史概観」を手にしている。戦後に浜名さんが「五足の靴」文学遊歩道の整備や全国短歌大会を開催した功績は大きい。

ときに歌謡曲「ゴンドラの唄」は、吉井勇の作詞で大正期に大ヒットした。また黒澤明監督の映画「生きる」で主人公の志村喬がブランコに乗って「ゴンドラの唄」を口ずさむシーンが思い起こされる。

お勧め本

『酒ほがひ（さかほがい）』
著：吉井勇／日本近代文学館（名著復刻版）



吉井勇の第一歌集。雑誌「明星」や「スバル」に発表された作品も収録されています。本書の装丁は高村光太郎、カットは藤島武二、口絵は木下杢太郎という贅沢な一冊。

令和８年度

苓北町「少年の健全育成」標語

中学生の部

▼最優秀賞

「認め合う　違いは個性　宝物」
苓北中学校　３年　濵田　佳歩



▼優秀賞

「人のため　めぐりめぐって　ぼくのため」
苓北中学校　１年　浦本　泰地

「誰とでも　好き嫌いなく　平等に」
苓北中学校　１年　岡田　結愛

小学生の部

▼最優秀賞

「「いやだよ」と　言える友達　つくろうよ」
志岐小学校　６年　横山　奏心

▼優秀賞

「だれにでも　感謝の気持ち「ありがとう」。」
都呂々小学校　６年　錦戸　琴

「だいじょうぶ　困った時は　助け合い」
都呂々小学校　６年　森下　琳

令和８年度個人向け

認知症サポーター養成講座を開催します

問　苓北町地域包括支援センター　☎35−1289

　認知症サポーターとは、認知症を正しく理解し、偏見を持たず認知症の人や家族を温かく見守る「応援者」です。

　今回、右記の日程で、おひとりからでも受講できる個人向けのサポーター養成講座を開催します。

　認知症を学び、地域で支え合う、やさしい町をみんなでつくっていきませんか。

▶**日　時**　12月16日㈫　13時30分～15時まで
▶**場　所**　苓北町保健センター研修室
▶**対象者**　認知症に関心のある人
▶**申込期限**　12月11日㈭まで
▶**申し込み方法**　苓北町地域包括支援センターへお電話でお申し込みください。



苓北町産前・産後サポート事業

12月は「苓北町パパトコ」を開催します！



　毎月、妊娠中のプレママ・プレパパや、子育て中のママ・パパ達の交流・学びの場を提供します。

　安心して妊娠期を過ごし、子育てができるようサポートします。

　お気軽にご参加ください。

申問　NPO法人子育てネットワーク わ･わ･わ
☎080−2741−6382
※公式LINEまたは電話でお申し込みください。

日時・場所	内　容	対　象
12月19日㈯ 10時～12時 子育て支援センター	「パパと遊ぼう！クリスマス音楽あそび」 講師：松下　まきさん	パパと1歳までの赤ちゃん、そのご家族 ※先着6組

公式LINE▶

※11月24日㈫10時から予約受け付けを開始します。

地域で。家庭で。くらしに食育を。

“食の応援団”
チーム ぱくぱく

今月のRECIPE

　各保育園、学校給食で子どもたちに大人気のメニューや、季節の食材を使った献立、家庭でも作りやすいレシピなどを紹介します。
　ぜひ、ご家庭でもお試しください。

子どもに人気のメニュー



おからサラダ

check

　おからをしっかりと乾煎りしておくことで調味料がなじみ、口当たりが良く仕上がります。ブロッコリーの食感とハムの風味がアクセントになり、箸が進む１品です。

作り方

①ブロッコリーは小房に分けて茹でる。ニンジンはいちょう切りにして茹でる。ハムは色紙切りにしてサッと茹でる。
②おからは乾煎りする。
③②に調味料と①を入れ和える。

材料（４人分）

おから……40ｇ
ブロッコリー……80ｇ
ニンジン……20ｇ
ハム……16ｇ
マヨネーズ……16ｇ
しょうゆ……3ｇ
砂糖……1.2ｇ

12月の共通メニューの実施日／内容　12月14日㈪／「のっぺい汁」
※12月の共通メニューから「町内産」の新鮮な野菜を使っています。

苓北町子育て支援センター
ふれあい広場

ひだまり

　秋も深まり、少しずつ冬の気配を感じる季節になりました。

　寒い日も増えてきますが、子どもたちは寒さに負けず、毎日いろいろな表情を見せてくれることでしょう。毎日の子育ての中で、うれしいことや楽しいこと、時にはちょっと疲れてしまうこともあるかと思います。そんな時は、ぜひ子育て支援センターをご利用ください。おしゃべりしたり、お子さんの成長を一緒に喜んだりしながら、ホッと一息つける時間を過ごしましょう。

ママたちのQ&A

Q　赤ちゃんの鼻づまりやゼーゼーする呼吸が気になります。

A　赤ちゃんは鼻の穴や気道が細いため、少しの鼻水や分泌物でもゼーゼーと音がすることがあります。機嫌が良く、ミルクや母乳がしっかりと飲めていれば心配ないことがほとんどです。

　室内の乾燥を防ぎ、必要に応じて鼻水を吸引しましょう。呼吸が苦しそうな場合や飲みが悪い場合は病院を受診すると安心です。







REIHOKUKOSODATE
Instagram

■開設日時／平日の９時30分～15時　■開設場所／新ふれあい館　☎31−1365

みんなのひろば

この欄は、皆さんと一緒につくるページです。
楽しい行事など、お気軽に広報係へ

総務課広報係　☎35―1111

俳壇

なぎさ11月句会より

野母の灯が冴え半月の天草灘　高戸　直樹
秋神楽舞う子の剣まっすぐに　宮﨑　甫毬
冬晴れや髪整へて句会行く　森田　和子
大空に広き道あり鳥渡る　永野　清江
いきなりの痛みで気付く牛膝　登本　正子
柿実り娘の帰り待つ空家かな　高橋　正美
鉄棒の土産たんこぶ秋の空　三原　千秋
秋惜しむ畑のランチやにぎり飯　金子かをる
秋うらら噴煙一筋桜島　宮﨑　益美
日追うごと採るには惜しき庭南瓜　田尻　町子
蕎麦の花活けて侘茶の一会かな　田中美津子

小学生の作品 ／ 坂瀬川小学校5年　松本　岳さん



苓北町から交通事故がなくなってほしいと思ってポスターをかきました。
みなさん、横だん歩道では安全を確かめて、手を挙げてわたりましょう。

園児の作品 ／ 国照寺保育園　椿ぐみのおともだち



子どもたちの大好きな絵本「からすのパンやさん」のからすたちを松ぼっくりと毛糸で作りました。松ぼっくりはお散歩の時に拾ってきたものです。
絵本のキャラクターを身近に感じることができました。

学校自慢 ／ 苓北中学校　3年2組

（男子16人　女子12人　計28人）
担任：井上先生



クラスの自慢
落ち着きがあり、全力で取り組むクラスです。特に給食が大好きで食べる量と速さは絶対負けません。

クラスから先生へ
井上先生から元気をもらっています。あと4カ月全力で頑張るので最高の思い出を作りましょう!

先生からクラスへ
いつも明るく真剣に取り組む3年2組が大好きです。これからの成長がとても楽しみです。

触れ合いネットワーク

社協だより

心配ごと、悩みごとの
ご相談はご遠慮なくどうぞ
☎ 35-1270

11月号 2026



https://reihokushakyo.com
reihoku.shakyo@ari.bbiq.jp

富岡地区女性の会
愛情が込められた赤飯を皆さまへ

文・富岡地区女性の会 髙村 政子さん

10月14日㈫、富岡地区敬老会に出席された高齢者の皆さまに、お祝いの赤飯をお渡ししました。

当日は、朝早くから女性の会の皆さんが集まり、前日から水に浸していたもち米を蒸し、小豆を混ぜてもう一度蒸し上げ、少し冷ましてから一つ一つ丁寧にパック詰めをしました。

敬老会終了後に、のし紙を付けた赤飯を、高齢者の皆さまにお祝いの気持ちを込めて、一人一人に声を掛けながら手渡しました。

皆さまからは「ありがとうございます。帰ってお昼に御馳走になります」とうれしい言葉をいただき、皆さま方の笑顔に私たちも温かい気持ちになりました。

また、次の日には「赤飯ありがとうございました。味も良く、ふっくらとしてとても美味しかったです」とたくさんの方々からお礼の言葉をいただきました。

これまで、一人暮らしの高齢者の方にお弁当を届けていましたが、今回は多くの皆さまに召し上がっていただきたいと、女性の会の皆さんのご協力のもと実施することができました。

これからも高齢者の皆さま方とふれあいを大切にして心温まる交流を深め、地域の皆さまに喜んでいただけるような活動を行っていきたいと思います。



当日配布した「愛情赤飯」

生活福祉資金貸付制度について

資金の貸付と必要な相談支援を行います。経済的自立および生活意欲の助長、在宅福祉ならびに社会参加の促進を図り、安定した地域生活を送れるよう支援します。

▶**対象**　低所得世帯、障がい者世帯、高齢者世帯

※多重債務、他の公的資金を借り入れているなどの場合は対象外となりますので、あらかじめ苓北町社会福祉協議会にご確認ください。

▶主な貸付制度

総合支援資金

失業などで日常生活全般に困難を抱えている世帯に対し、生活の立て直しのために生活費と一時的な資金を貸し付ける制度です。

▷生活支援費（生活再建までの間に必要な費用）
▷住宅入居費（敷金、礼金など住宅の賃借契約を結ぶために必要な費用）
▷一時生活再建費（生活再建に一時的に必要かつ日常生活費で賄うことのできない費用）

福祉資金

日常生活を送るうえで、自立生活を営むために、一時的に必要と見込まれる費用を貸し付ける制度です。

▷生業を営むために必要な経費
▷技能習得に必要な経費
▷住宅の増改築、補修などに必要な経費
▷福祉用具などの購入、福祉サービス利用に必要な経費
▷障がい者用自家用車の購入に必要な経費
▷災害を受けたことにより臨時に必要となる経費
▷冠婚葬祭に必要な経費
▷住居の移転などにより給排水設備などの設置に必要な経費
▷就職、技能の習得などの支度に必要な経費
▷その他の日常生活上に必要な経費

教育支援資金

教育に関連した費用を貸し付ける制度です。

▷教育支援費
国公立、私立の高等学校、短期大学、大学または高等専門学校に修学するのに必要な費用を無利子で借りることができます。

▷高等学校、短期大学、大学または高等専門学校への入学に必要な費用（入学のときの教材、カバン、制服、靴など）を無利子で借りることができます。

こんにちは！

苓北町地域包括支援センターです！

笑顔と元気があふれるステージ！「第7回いきいきフェスタ」を開催しました

9月12日㈯、志岐集会所にて「第7回いきいきフェスタ～苓北のたっしゃかもん私の生きがい元気のもと～」を開催しました。

オープニングでは「WAVES KIDS DANCE STUDIO」による元気なダンスが会場を華やかに彩り、続くステージでは地域のたっしゃかもん7組16人が登場。山登りや日本舞踊、あおさの養殖、草鞋作り、蕎麦打ち、手芸、御詠歌など、それぞれの生きがいや自慢の特技が熱く披露され、会場は大きな拍手と温かい歓声に包まれました。約100人が来場し、大盛況のうちに幕を閉じました。



御詠歌を披露する参加者


7組16人の出場者の皆さん

今月の転倒予防体操

「正しい姿勢を心がけよう」→自分の姿勢をチェックしてみよう

＜注意点＞

※靴は脱いで行う
※バランス保持のために軽く壁に手を添えてもよい
※視線は正面（あごを無理に引かない）
※腰痛がある人は無理に腰を壁につけない

やり方（壁立ち姿勢チェック）

1.壁に背を向けて立ち、かかと・お尻・背中・後頭部を壁にくっつけるように意識して立ちます。
2.下の表に従い、腰の隙間・肩の接触具合・頭の位置を確認します。

評価項目	正しい姿勢	○/×
後頭部の接触	自然に壁につく	
肩甲骨の接触	両肩が壁につく	
腰部の隙間	手のひら１枚分	
かかとの位置	両かかとが壁につく	
頭部位置（前方頭位）	あごが上がっている 首が前に出ている	

全て○になるのが理想的です。どこか一つでも当てはまる場合は、×の部位が正しい姿勢になるように毎日「壁立ち」を行ってみましょう。



問い合わせ先　苓北町地域包括支援センター（苓北町保健センター内）/☎35-1289（平日　8:30~17:15）

特設人権相談所を開設します

人権問題をはじめ家庭内のこと、相続問題、金銭問題、ご近所とのトラブルなどで悩んだり、お困りの人はお気軽にご相談ください。相談は無料で、秘密は固く守られます。

▼**期日** 12月1日㈫
▼**時間** 10時～15時まで
▼**場所** 役場大会議室
▼**相談員** 地元人権擁護委員
問 **税務住民課** ☎35―1115

苓北町文化講演会を開催します

明治の文豪、夏目漱石が来島（来町）して130年を記念し、次のとおり、苓北町文化講演会を開催します。

▼**日時** 11月28日㈯ 14時～
▼**場所** 志岐集会所
▼**講師** 村田 由美さん（草枕交流館館長）
▼**演題** 漱石の天草・島原修学旅行
▼**参加料** 無料
▼**申し込み方法** 左記二次元コードまたは電話にてお申し込みください。

申し込みは
こちら！

問 **教育委員会** ☎35―2111

電子申告（確定申告）操作説明会を開催します

天草税務署から講師を招き、「スマホとマイナンバーカードを利用した電子申告（確定申告）」についての操作説明会を次のとおり開催します。

今回は、毎月開催している「デジタルなんでも相談会」の相談員が本説明会をサポートします。

①操作説明会
▼**期日** 12月15日㈫
▼**時間** ①10時30分～11時30分まで
②13時30分～14時30分まで
▼**会場** 役場1階町民ホール
※事前受け付けが必要です。
▼**申し込み方法** 12月7日㈪までに左記二次元コードまたは電話にてお申し込みください。

申し込みは
こちら！

②デジタルなんでも相談会
▼**期日** 12月14日㈪・15日㈫
▼**時間** 10時30分～15時30分まで
▼**その他** 15日の右記操作説明会の時間帯は、相談をお受けすることができません。ご了承ください。
問 ①**税務住民課** ☎35―1115
②**行革デジタル対策室** ☎35―3338

苓北町からも作品が出品されます！ぜひ、ご来場ください

天草書道協会では、毎年開催している「天草書道展」を左記の日程で開催します。

苓北町内からも作品が出品されますので、ご家族やお知り合いをお誘いあわせのうえ、ぜひご来場ください。

▼**期間** 12月4日㈮～6日㈰まで
▼**時間** 9時～17時まで
▼**場所** 天草市民センター展示ホール
▼**部門** ①一般の部／②小学生の部
③中学生の部／④高校生の部
▼**その他** 本書道展に関する詳しい内容については、左記へお問い合わせください。
問 **天草書道協会／有馬海龍** ☎090―7466―1763

この機会に県税について考えてみましょう

熊本県では、令和8年熊本地震への対応や未来を担う子どもたちの教育、道路・河川の整備など、さまざまな施策に取り組んでいます。

皆さんに納めていただいた県税は、それらを実現するための貴重な財源となります。

ぜひ、税の意義や役割を考えてみましょう。

問 **天草広域本部税務課** ☎22―4370

熊本県最低賃金が改定されました

▼**時間額（令和8年12月1日～）** **1，092円**
※この最低賃金は、県内全ての事業所、労働者に適用されます。詳しくは、左記へお問い合わせください。
問 **天草労働基準監督署** ☎23―2266

第3回危険物取扱者試験を実施します

▼**期日** 令和9年2月14日㈰
▼**場所** 熊本市内
▼**試験種類** 甲種、乙種（1・2・3・4・5・6種）、丙種
▼**申込期間** 12月9日㈬～16日㈬まで
問 **天草広域連合消防本部予防課** ☎22―3305

漢字検定を実施します

▼**期日** 令和9年2月14日㈰
▼**検定級** 2級～10級
▼**時間** 受験する級に応じて開始時間が異なりますので、左記へお問い合わせください。
▼**場所** 天草教育会館（天草市志柿町）
▼**申し込み方法** 12月11日㈮までに申込書を左記へご提出ください。
問 **天草教育会館** ☎23―2355

看護のワークフェアin天草（無料就職相談会）を開催します

未就業の看護師や看護学生を対象にした無料就職相談会を開催します。ぜひ、ご参加ください。

▼**期日** 12月12日㈯
▼**時間** 13時～15時30分まで
▼**場所** 天草市複合施設ここらす
▼**申し込み方法** 事前に申し込みが必要ですので、左記へ電話または左記二次元コードからお申し込みください。（当日参加もできます。）

申し込みは
こちら！

問 **熊本県看護協会熊本県ナースセンター** ☎096―365―7660

道路の異状を発見した際は道路緊急ダイヤル（#9910）へ

道路緊急ダイヤルは、道路における倒木や穴ぼこなど、道路異状を発見した場合の通報窓口です。

このダイヤルに通報することにより、速やかに応急処置などを実施することができ、道路の異状による事故を未然に防ぐことができます。

道路異状を発見した場合は、速やかに#9910に連絡いただきますようご協力をお願いします。

問 **熊本県道路保全課** ☎096―333―2495

Happy Party REIHOKU 2026を開催します

天草CHICHIクラブでは、大人から子どもまでの幅広い世代の皆さんが交流する機会を創出し、地域の賑わいづくりに寄与することを目的に、次のとおり「Happy Party REIHOKU 2026」を開催します。

会場では、クリスマスならではのグルメやスイーツ、雑貨が並び、リースやキャンドルづくりなど、親子で楽しめるワークショップも行います。

さらに、映画『ガーディアンズ 伝説の勇者たち』の無料上映や、苓北特産・ヒオウギ貝を使ったクラムチャウダーの振る舞い、仮装フォトキャンペーンなど、楽しい企画が盛りだくさんです。

地域のお店や仲間たちが集まり、クリスマスの特別なひとときをお届けします。ぜひ、ご来場ください。

▼**日時** 12月5日㈯
16時～21時まで
▼**場所** 志岐集会所
▼**映画上映** 18時～（料金は無料で先着100人までとなります。なお、整理券は17時から配布します。）
問 **天草CHICHIクラブ** ☎31―1067

直通番号
35-1111（総務課／代表）
35-3336（会計課）
35-3332（商工観光課）
35-3334（企画政策課）
35-1115（税務住民課）
35-1245（農林水産課）
35-2111（教育委員会）
35-1263（福祉保健課）
35-3331（土木管理課）
35-3337（議会事務局）
35-3330（健康増進室）
35-3335（水道環境課）

『弱虫ペダル』作者・渡辺航先生も参加！

あまいちグランフォンド2026会場へお越しください！

雲仙天草国立公園天草地域指定70周年を記念し、九州唯一のナショナルサイクルルート「あまいち」を舞台としたサイクリングイベント「天草一周！あまいちグランフォンド2026」が12月12日㈯・13日㈰の2日間にわたり開催されます。

天草の美しい海や島々の景観、新鮮な海の幸や山の幸など、天草の魅力を満喫しながら走ることができるサイクルイベントです。レースではなく交通規制も行わないため、自分のペースで安全にサイクリングを楽しめるイベントとなっています。

また、スタート・フィニッシュ会場であるあましんスタジアムでは、県内各地のグルメや、天草ならではの特産品が並ぶマルシェ「あまいちサイクル＆フードフェスタ」も開催されます。

なお、大人気自転車漫画『弱虫ペダル』の作者である渡辺航さんも来場する予定です。

さらに、当日会場内では、渡辺航さんのサイン会をはじめ、自転車試乗会、餅投げも予定しています。ご家族やご友人と一緒にお楽しみいただけますので、ぜひ、会場へお越しください。

サイクリングを楽しむ人はもちろん、応援やイベント参加だけでも大歓迎です。天草の絶景に挑むサイクリストたちを、沿道や会場からみんなで応援しましょう。

「あまいちサイクル＆フードフェスタ」概要
▶**期日** 12月12日㈯・13日㈰
▶**会場** あましんスタジアム（天草市）
▶**時間** 11時～17時まで

問 **VISITあまくさプロジェクト実行委員会事務局（天草広域本部総務振興課内）** ☎22-4214

骨折を予防して、健康長寿をめざしましょう！

問　健康増進室　☎35-3330

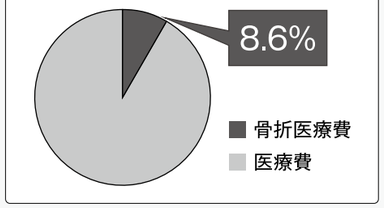


苓北町の骨折に係る医療費は多額!?

自立した生活を続けるためには、骨折を予防することが大切です。骨折すると、入院や生活環境の変化をきっかけに、筋力が低下したり、介護が必要になったりすることがあります。

町においても、後期高齢者の医療費全体に占める骨折医療費の割合は高く、金額にすると約１億５,０００万円にも上ります。また、骨折に係る医療費は県内全体でも上位を占めており、全国平均よりも高く推移している現状です。

◆町の後期高齢者の全体医療費に占める骨折医療費の割合



骨折の主な要因は2つ！

◆骨粗しょう症による骨の強度の低下◆

骨量は男女とも20歳前後で最大となり、40代後半から加齢とともに減少していきます。特に女性は、閉経後に女性ホルモンの一つであるエストロゲンが減少するため、骨粗しょう症になりやすいとされています。

自分の骨密度を知らない場合は、一度、地域健診などで測定してみましょう。

◆筋力やバランス能力の低下による転倒◆

筋肉量や筋力が低下した状態を「サルコペニア」といいます。「サルコペニア」になると、転倒のリスクが２～３倍になると言われています。

また、サルコペニアと骨粗しょう症は合併しやすく、サルコペニアの人は骨粗しょう症になるリスクが13倍になるとも言われています。

やってみよう！ サルコペニアの危険度チェック





豆知識

◆日常の動作にも注意を！◆

骨折しやすい部位として、①背骨の骨折、②肋骨の骨折、③手首の骨折があります。重い荷物を持ち上げるなどの日常の何気ない動作が、骨折につながることがあります。

また、薄暗い場所での移動や、家の小さな段差にも注意が必要です。

お知らせ

◆InBody体験会を開催します◆

「InBody」は、微弱な電流を利用して、筋肉量や脂肪量、水分量などを測定する体成分分析装置です。この機会に、ご自身の体の状態を確認してみませんか。（参加予約は不要です。）

▶**日　時**　12月17日㈭　9時～12時まで
▶**場　所**　苓北町役場大会議室
▶**参加費**　無料



※広報れいほく12月号で、筋肉や骨を強く保つために必要な運動や栄養素についてご紹介します。

くまもとハートウィーク ふれあいイベント in 天草を開催します

問　福祉保健課　☎35-1263

毎年12月３日～９日は、障がい福祉について関心と理解を深めるとともに、障がいのある人の社会参加を促進する「障がい者週間」です。

天草地域自立支援協議会では、障がい者週間にあわせ、次のとおりイベントを開催します。

▶**日時**　12月４日㈮～６日㈰　10時～15時まで
▶**場所**　天草市複合施設ここらす
▶**内容**　ここらす販売会・相談コーナー・各種展示などさまざまなイベントを予定しています。
▶**入場料**　無料

ふれあい標語を募集します

障がい者週間にあわせて、障がいを持つ人との「つながるやさしい心」をテーマとした標語を募集します。

▶**募集作品**　字数：20字程度
▶**応募上限**　１人１作品まで（他作品などからの模倣・盗用などを行っていないものに限る。）
▶**応募資格**　天草管内に住む小学生以上の人
▶**応募方法**　応募用紙または白紙に、標語および必要事項（住所・氏名・学校名・電話番号）を記入し、福祉保健課へご提出ください。
▶**応募期間**　12月１日㈫～25日㈮まで
▶**表彰など**　入賞者には副賞を進呈します。
▶**その他**

入賞作品は天草市・上天草市・苓北町の障がい福祉に係る啓発広報活動に使用します。

応募はこちら！

山火事にご用心！

大切な森林を火災から守りましょう

問　農林水産課　☎35-1245

山火事は、空気が乾燥し、落ち葉や枯れ草などが燃えやすくなる春先や秋から冬にかけて多く発生しています。出火原因の多くは、たき火の不始末や火入れなど、人の不注意によるものです。

一度山火事が発生すると、森林や住宅などに大きな被害を及ぼすおそれがあります。大切な森林を守るため、次のことを必ず守りましょう。

①林野火災注意報・警報の発令時や、乾燥・強風時には屋外で火を使用しない。
②枯れ草などがあり、火災が起こりやすい場所では、たき火をしない。
③火気の使用中はその場を離れず、使用後は完全に消火する。
④火入れを行う場合は、事前に許可を受ける。
⑤たばこの吸いがらは確実に消火し、絶対に投げ捨てない。
⑥火遊びはしない。また、子どもにもさせない。

火入れを行う場合は、町の許可が必要です

「火入れ」とは、森林または森林の周囲１キロメートルの範囲内にある土地において雑草、立竹木を面的に焼却する行為のことです。

火入れを行う場合には、「森林法」および「苓北町火入れに関する条例」により火入れ開始日の５日前までに許可の申請が必要です。

▶**火入れの許可要件**　造林のための地ごしらえ／開墾準備／害虫駆除／焼畑／採草地の改良
▶**火入れにあたっての注意点**

火入れ地の周囲に幅５m以上の防火帯を設けてください。また、火入れ対象地が0.5haまでの場合、10人以上火入れ従事者を配置してください。0.5haを超える場合は、0.5ha毎に５人加えてください。

▶**火入れの対象期間**　１件につき７日以内
▶**火入れの中止**

火入者および火入責任者は、火入れの許可の期間中であっても、強風注意報、乾燥注意報の発表または火災警報、林野火災注意報、林野火災警報が発令された場合、火入れを中止してください。火入れ期間の終了後は、農林水産課へ速やかに許可証を返納してください。

詳しくはこちら！



しろう天草の国民年金 ねんきん How to

「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」は大切に保管してください

国民年金保険料は、所得税及び住民税の申告において納めた全額が社会保険料控除の対象となります。（令和８年１月～令和８年12月までに納めた保険料が対象となり、過去の年度分や追納分の保険料を支払った場合も含まれます。）本年中に国民年金保険料を納付した人には、日本年金機構から「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」が発行されますので、年末調整・確定申告の際にご使用ください。

控除証明書の再交付を希望される場合は、ねんきんネットから再交付申請を行うか、下記のナビダイヤルにお問い合わせください。なお発送までに、ねんきんネットの場合は３～５日程度、電話での申請の場合は１週間程度かかります。

問 **「ねんきん加入者ダイヤル」**
☎0570-003-004（ナビダイヤル）
本渡年金事務所　☎24-2112

項番	対象者	送付方法	送付予定日
1	令和８年１月１日～令和８年９月30日までの間に納付した人	郵送（ハガキ）	令和８年10月23日㈮～11月上旬にかけて順次
2	１のうち、「ねんきんネット※1」において事前に電子送付希望の申請を行った人	電子送付※2	令和８年10月16日㈮～10月下旬にかけて順次
3	令和８年10月１日～令和８年12月31日までの間に納付した人	郵送（ハガキ）	令和９年２月上旬
4	３のうち、「ねんきんネット」において事前に電子送付希望の申請を行った人	電子送付	令和９年１月下旬

※１　年金に関する各種記録の閲覧や手続きがインターネット上で行えるサービス

※２　マイナポータルから、ねんきんネットの利用登録を行い、控除証明書の送付申請を行うことで受け取ることができます。

広告

整形外科の診療日が増えます!!

現在、当院では毎週金曜日に整形外科の診察を行っておりますが、
4月より金曜日に加え、新たに火曜日の診察も開始することとなりました。

○整形外科の診療日
毎週金曜日 ➡ 毎週『火・金』曜日

※詳しくは苓北医師会病院へお問い合わせください。

苓北医師会病院　☎（0969）35-1133



有料広告募集中！

詳しくは、総務課まで！
問　総務課　☎35−1111

広告

12月の如水館

如水館

❑健康セミナー：尿漏れ・尿失禁
4日（金）9:30～10:30

❑展示：第13回職員文化展
11月27日（金）～12月15日（火）
9:00～17:00 水・木曜日休館
ー昼休みも開いてますー

HPはこちら

〒863-2502
天草郡苓北町上津深江278-2（天草慈恵病院横）
社会福祉法人慈永会 ふれあいスペース如水館
☎ 0969-37-0022
URL https://www.jieikai.com/josuikan

インスタ始めました
@JOSUIKAN_JIEIKAI

広告

相続・遺言・不動産登記・法人登記・債務整理・訴訟

あさがお司法書士事務所

司法書士　筑紫　正彰

相談無料

〒863-2502
熊本県天草郡苓北町上津深江4357-1
■TEL 0969-31-1411 ■FAX 0969-31-1412
■携帯090-5942-8234



参加者を募集します！ 苓北町健康づくり駅伝大会

問 教育委員会 ☎35-2111

町民の健康増進と参加者同士の交流を図るとともに、スポーツを通したまちづくりを推進することを目的として、苓北町健康づくり駅伝大会を開催します。

▶**期日**　令和９年１月31日㊐　９時開会
※小雨決行

▶**会場**　苓北町町民総合センター（コミセン）
※コミセン周辺の５区間の周回コース

▶**参加資格**　競技参加に自信のある小学生以上の健康な男女　※町内外不問

▶**部門**　一般の部・学生の部・オープン
※学生の部の代表者は引率責任者とします。

▶**チーム編成**

【一般】１チーム５人とし、必ず女子選手または男子50歳以上１人（指定選手）を入れること。学生（中高生）は２人まで出場させることができる。ただし、区間賞は学生の部を適用する。

【学生】全区間フリーとする。

【オープン】小学生を含むチーム。「一般」、「学生」に該当しないチームまたはオープン参加を希望するチームとする。オープンチームは個人、チームとも参考記録とする。

▶**参加料**　2,000円
※ただし、町内の学生チーム、町内の小学生のみで構成されたオープンチームは無料。参加料は、代表者会議の際に持参してください。納入された参加料は、大会開催の有無に関わらず返金しません。

▶**区間**　１区（2.7㎞）、２区（1.5㎞）、３区（1.5㎞
※指定選手）、４区（1.5㎞）、５区（2.7㎞）

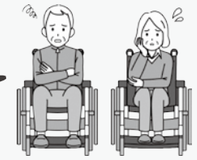
▶**申込方法**　参加申込書に必要事項を記入のうえ、FAX、郵送または持参により教育委員会へお申し込みください。町ホームページからもダウンロードできます。

▶**申込期限**　12月25日㈮　17時必着
※申込締め切り後、代表者会議を開催します。後日通知しますので、ご出席ください。

苓北町相談支援事業のご案内
サポートします　あなたが抱えるさまざまな悩み

問　福祉保健課　☎35-1263

・身体に障がいがあります。一人暮らしをしていますが、今後の生活が心配で…。
・子どもの発育のことを誰かに相談したいな…。
・毎日の生活に不安を感じ、どうしたらいいかわからない…。



人付き合いや生活をするなかでうまくいかないことなど、暮らしのなかで不安を感じたとき、誰かに相談していますか？

町では、さまざまな悩みを抱える人が、地域で安心して生活をしていくために必要なことを、専門スタッフと一緒に考え、一人一人に合った適切な福祉サービスの利用などをお手伝いする相談支援事業を委託により実施しています。

▶**町の相談支援事業所（委託事業所）**　天草整肢園相談支援事業所（苓北町上津深江10）☎35-1717
▶**相談時間**　８時30分～17時まで（※土日祝日を除く。）
▶**相談内容**　①福祉サービスの利用に関すること／②生活や教育・発達に関すること／③お仕事や住まいに関すること／④友だちや仲間づくりに関すること／⑤難病などに関すること　など

その他、相談に係る費用は無料で秘密は固く守られます。
どんなささいなことでも構いませんので、お気軽にご相談ください。

12月 まちのカレンダー

家庭用としてご利用ください

可・生 可燃ごみ・生ごみ収集日
不・資 不燃ごみ・資源物収集日
坂・志 …坂瀬川・志岐（年柄除く）
富・都・年…富岡・都呂々・年柄
（※発行日時点）

日	月	火	水	木	金	土
11/29 関東ふるさと苓北会総会（東京都）	30 可・生 坂・志 町税等の納期限	1 可・生 富・都・年 特設人権相談所 10:00～15:00 役大	2 不・資 坂瀬川 苓北町議会定例会 （～4日）議場	3 可・生 坂・志 巡回バス運休日 麟泉の湯休館日	4 可・生 富・都・年 3歳児健診 13:00～ 保	5
6	7 可・生 坂・志	8 可・生 富・都・年	9 不・資 志岐 2歳児歯科健診 13:00～ 保	10 可・生 坂・志 苓北町防災の日	11 可・生 富・都・年 乳児健診 13:00～ 保	12 雲仙天草国立公園天草指定70周年記念「あまいちグランフォンド2026」（80kmの部・140kmの部）（～13日、町内）
13 れいほく サンセットマルシェ 13:00～15:00 （天草れいほく観光協会）	14 可・生 坂・志	15 可・生 富・都・年 水道料等の通知書発送日	16 不・資 富岡 苓北町町長選挙・苓北町議会議員一般選挙立候補予定者説明会 9:00～ 役大	17 可・生 坂・志 In Body体験会 9:00～ 役大 地域健診結果説明会 13:30～ 役大 巡回バス運休日 麟泉の湯休館日	18 可・生 富・都・年	19
20	21 可・生 坂・志 【広報れいほく発行日】	22 可・生 富・都・年 75歳到達者説明会 9:00～ 保	23 不・資 都・年	24 可・生 坂・志	25 可・生 富・都・年 町税等の口座振替日	26
27	28 可・生 坂・志 町税等の納期限	29 可・生 全地区 役場閉庁（～1/3）	30	31 水道料等の納期限	1/1 元日	2

保 保健センター
役大 苓北町役場大会議室
議場 苓北町役場議会議場

○乳児（３カ月児・７カ月児）健診
→令和８年８月・令和８年４月に生まれた乳児
○２歳児歯科検診
→令和６年７月～12月に生まれた乳児
○３歳児健診
→令和５年７月～９月に生まれた幼児

毎週水曜日 休館
富岡ビジターセンター（12/30㊌～1/1㊎㊗は休館）
苓北町温泉プール（12/24㊍～1/31㊐は臨時休館）

毎週木曜日 休館
苓北町歴史資料館（12/30㊌～1/1㊎㊗は休館）

12/31㊍～1/1㊎㊗
麟泉の湯は10時～17時まで開館

12/29㊋～1/3㊐
苓北町巡回バスは運行休止

こせきの窓 10月 受付分

《新生活運動の推進》「お返しは廃止し、お礼状を送りましょう」

お悔やみ申し上げます （敬称略）

区名	氏名	年齢
小路	溝上マキヨ	95歳
城下	髙戸 安男	93歳
一丁目	浦﨑 満志	90歳
新町	池田 久道	86歳

善意の寄付 ありがとうございました

●**社協寄付**（10月受付分）
松本 勝幸さん 池田 孝子さん

●**広報れいほく郵送料寄付**（R8.10.15～R8.11.14）
品川 光明さん（兵庫県） 渡辺 英孝さん（奈良県）
池﨑 生子さん（大阪府）



12月休日当番医

（発行日時点）

休日当番医 休日薬局

6日（日）	天草慈恵病院	（内）	☎37−1111
13日（日）	天草慈恵病院	（内）	☎37−1111
20日（日）	天草慈恵病院	（内）	☎37−1111
27日（日）	苓北医師会病院	（泌）	☎35−1133
30日（水）	苓北医師会病院	（未定）	☎35−1133
31日（木）	苓北医師会病院	（未定）	☎35−1133

※内（内科）、泌（泌尿器科）
※最新情報は休日在宅医自動電話案内（☎23-1400）でご確認ください。

町の動き 令和８年10月末現在 ※（）は前月比

人口
5,885人（±0）

男 2,809人（＋1）
女 3,076人（△1）
世帯数 2,947戸（＋5）

公表します 町長交際費

（令和８年10月処理分）

区分	件数	金額
弔慰	0件	0円
見舞	0件	0円
御祝	0件	0円
賛助	0件	0円
接遇	1件	5,000円
会費	0件	0円
みやげ・記念品	3件	16,923円
その他	0件	0円
計	4件	21,923円

町長交際費とは、町長が円滑な行政運営を図るために町を代表して行う外部との交際に要する経費です。クリーンな行政運営を目指す苓北町では、町長交際費を毎月公表します。

用語解説
- 町政関係者に対する香典、供花などに係る経費
- 見舞 町政関係者の病気、災害などの見舞いに係る経費
- 御祝 記念行事、式典、祝賀会などに際しての祝いに係る経費
- 賛助 各種大会、新聞などの特別企画などで公益性のあるものへの賛助
- 接遇 来客、町政関係者との懇談などに係る経費
- 会費 円滑な町政運営に資する会議、会合、研修会への参加に係る経費
- みやげ・記念品 来客、町政関係者へのみやげ、記念品などに係る経費
- その他 上記の区分に掲げるもの以外に係る経費

問 総務課 ☎35-1111

ハローワーク天草（常用一般分抜粋）

求人情報をお知らせします！

令和８年９月19日～10月19日時点のハローワーク天草求人情報をお知らせします。詳しくは、天草公共職業安定所（☎22-8609）へお問い合わせください。

ハローワークインターネットサービス
求人一覧（苓北町）

苓北町上津深江広域避難地防災公園

「はまゆう ひだまり公園」が開園！



①



④



③



②

①多くの家族連れでにぎわうはまゆう ひだまり公園／②町から感謝状が贈られた永野忠相理事長／③式辞を述べる山﨑町長／④関係者によるテープカット

子育て世代をはじめとする町民の憩いの場として、また、災害時には防災機能を有する公園として、上津深江広域避難地を活用した「苓北町上津深江広域避難地防災公園（愛称：はまゆう ひだまり公園）」が10月31日㊏に開園し、多くの家族連れでにぎわいました。

この公園には、子どもたちが楽しく遊べる大型遊具などの設備はもちろんのこと、災害時にかまどとして活用できるベンチや耐震性の高いトイレなどの最新の防災設備も備えられています。開園初日には、町関係者などを招いた開園式典が挙行され、ネーミングライツパートナーとなった社会福祉法人慈永会・永野忠相理事長へ山﨑町長から感謝状が贈られたほか、テープカットが行われるなど、防災公園の開園を祝いました。

開園式典で山﨑町長は「未来を担う子どもたちの健やかな成長を支える環境づくりを最優先課題の一つとして取り組んできました。この公園が子どもたちの笑顔で溢れ、多世代の皆さまが集う場所となることを願います」と式辞を述べました。

―HAPPY BIRTHDAY― 1歳おめでとう。

いただきまーす





ご飯おいしーい

岡村　日乃（はるの）ちゃん・汎（ひろむ）くん

【天草市在住】令和7年11月14日生

父・亮さん　母・千乃さん

information　12月・1月で満1歳になるお子さんの写真を募集します

▶**申し込み方法**　下記の必要事項を添えて持参、郵送、メールのいずれかの方法でお申し込みください。
※写真やデータは返却しません。

▶**申込期限**　12月25日㊍まで

▶**掲載予定**　広報れいほく1月号

▶**必要なもの**　①写真　②氏名、性別、生年月日　③親の氏名　④メッセージ（20文字程度）　⑤住所

問　**総務課広報係**　☎35-1111

araki-g@town.reihoku.lg.jp

■発行／苓北町役場　〒863-2503 熊本県天草郡苓北町志岐660番地
☎0969-35-1111 FAX0969-35-2454
■発行日／令和8年11月20日　■編集／総務課
■印刷／㈱印刷センター